

開かれた議会 親しまれる議会を目指して

伊丹市議会だより



itami February.8, 2021 vol. 238

CONTENTS

vol. 238の主な内容

P.2…… 11月臨時会

議案審査

P.2~6… 12月定例会

一般質問

P.6~7… 議案審査

P.7…… 議決結果

P.8…… 人事



伊丹市マスコット たみまる

市議会からのお知らせ
議長の活動報告
会議の予定

11月臨時会

議案審査

令和2年第5回臨時会(11月25日)では、専決処分報告を除く議案2件が提出され、可決されました。議案名の横にaとあるのは、賛否が分かれた議案です。各議員の賛否は7ページの議決結果をご覧ください。

総務政策常任委員会

○一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正 a

委員会付託なし

○みやのまえ文化の郷整備工事の請負契約

12月定例会

一般質問

令和2年第6回定例会(12月3日～23日)では、24人の議員から市政全般にわたり、さまざまな質問がありました。その一部を紹介します。なお、詳細については、ホームページをご覧ください。

子どもたちへのわいせつ・セクハラ行為防止に向けた取組

久村 真知子 議員



問 子どもたちが、より十分に学び知識を身に付け、自らの人生を守ることができるための取組、また、子どもたちが声を上げやすい環境づくりについて伺う。

答 身を守る力をつける取組として、発達段階に応じて性に関する正しい知識を習得し、異性への理解を深めるよう指導するとともに、各校の実態や発達段階に応じた教育活動全体を通じて、自らの安全を守るための能力を身に付けられるよう指導している。また、被害にあった時には、子どもがすぐに相談できる窓口が学校園や市教育委員会、県に設置されている。被害の防止については、地域の補導委員によるパトロールや下校の見守りなどを徹底していく。

市議会ホームページから3つの方法でご覧いただけます。

①会議録検索システム
(2月下旬に掲載予定)

②本会議中継・録画配信

③代表質問・個人質問・一般質問・質疑の要旨

伊丹市議会 検索



重度障がい者の支援

北原 速男 議員



問 家族の高齢化に伴い、在宅介護が困難となった場合の重度障がいを持つ方々の受入先の確保は。

答 障がい者の居住の場であるグループホームは令和2年10月時点で市内に34か所、定員186人分が整備されているが、重度の障がい者を受け入れることができる法人は少ないのが現状である。また、支援には深い知識と経験、高度な対人支援スキルが必要であり、人材の確保・育成が大きな課題であることから、市内の障がい者支援団体や事業所等と連携しながら対応に取り組むとともに、重度の障がい者にも対応できるグループホームの整備拡充を図っていく。

ごみステーションの取扱い

吉井 健二 議員



問 ごみステーションの設置や地域課題への対応を伺う。

答 ごみステーションの新設・移設については、集合住宅や宅地開発以外の地域では自治会など使用される地域の方々が決めている。市が相談窓口となって安全面への配慮や排出のしやすさ等について委託業者と連携して現場確認を行い、地域の実情を伺うなど最適な場所への設置となるよう可能な限り地域協議にも参加したいと考えている。また、ごみステーションを市が強制的に移設・撤去することはなく、課題発生の際には、地域に対し解決に向けた情報提供を行うなど地域の実情に合わせた安全で快適なごみステーションの設置に努めている。

オンライン申請手続

竹村 和人 議員



問 行政手続をオンライン申請できる「ぴったりサービス」と今後のオンライン申請に対する見解は。

答 「ぴったりサービス」は市民サービスの向上と事務の効率化の観点から必要性を感じる一方で、画面構成や展開が複雑で、申請情報をデジタルのまま登録できないなどの課題があり、今後の機能改善の動向を見極めている。

今後のオンライン申請は、手数料の決済機能までをワンストップで可能とし、データが業務システムと連動する一連の事務作業により効率化を図り、職員の働き方改革につながる取組が必要と考えていることから、幅広く各サービスの特性に応じた検討をしていく。

災害時における避難所のトイレ整備

篠原 光宏 議員



問 避難所でのトイレの整備状況と、非常用トイレの備蓄数について伺う。

答 椅子タイプや組立て式の便器223基、トイレ用テナート81張り、抗菌ビニールとドライタイプの薬剤セットのトイレキット5万400個を備蓄しており、必要時に短時間で対応が可能である。災害時において、避難所トイレが使用不可の場合には、学校の避難所井戸水や災害時協力井戸制度による地域の井戸水の利用、仮設トイレやトイレキット、マンホールトイレの活用を計画している。特にマンホールトイレはバリアフリーにも対応が可能で、笹原公園、北伊丹第2公園に整備している。

兵庫朝鮮学園に貸し付けている市有地の賃借料

花田 康次郎 議員



問 ①兵庫朝鮮学園に対し条例に準じて算出した土地使用料の10分の1で市有地を貸し付けている理由は。②今後の交渉は金額を上方修正する前提で行うのか。③仮に、朝鮮総連との関係が証明されれば、補助金を含めて優遇措置を廃止するのか。

答 ①当該地には、かつて市が神津小学校の桑津分校を設置していたが、廃止に伴い昭和41年に校地を貸し付け、校舎を譲与し、学園を運営させるため、議決を得て時価より低い価格で賃貸借契約を締結した。②近隣他都市の状況や地価を勘案し検討する。③関係が明確になれば、その段階で関係性にに基づき判断する。

新型コロナウイルス感染対策～PCR検査体制の充実を～

上原 秀樹 議員



問 クラスターが発生すれば多大な影響が出る医療機関や福祉施設、学校等で、定期的な検査を行うことについて国や県に要望すべきと考えるが見解は。

答 兵庫県対処方針では、検査体制の強化として1日2,900件の検査件数を確保していること、PCR検査を行う地域外来・検査センターを県内8か所に開設することなどが挙げられ、阪神圏域では伊丹市医師会PCR検査センターを含め3か所設置されている。また、クラスターの発生が懸念される場合には、濃厚接触者以外にも幅広く関係者を検査対象とするなど、適切に検査が実施されていると認識している。引き続き、国や県の動向を注視していく。

都市公園に保育所の創設を

小西 彦治 議員



問 保育所に魅力があれば、通所が遠距離でも応募が殺到すると考える。魅力ある公園保育所創設への見解は。

答 保護者が保育所を選ぶポイントとして、自宅からの通いややすさを重視していると考え、民間保育所の誘致は、待機・入所保留児童が生じている地域を中心に募集等を行っている。一方で、都市公園は災害時の避難場所等多様な機能を有し、貴重なオープンスペースとして非常に大切な役割を果たしている。都市公園を活用した保育所設置は、保育施設の市内配置状況や近隣地域の保育需要の動向、都市公園が果たしている機能や役割を十分に見極めた上で、慎重に検討していく必要がある。

オンライン相談業務

杉 一 議員



問 オンライン会議システムを活用した市民からの相談の開始について見解を伺う。

答 行政サービス向上につながる有効な手段であると考え、市がセキュリティー保持のため導入しているシステム(Webex)は、市民になじみがなく操作も不慣れかもしれないこと、通信への負荷が高く、安定性確保に検証を重ねているという技術面の課題がある。また、運用面では、操作ミスにより個人情報漏えいしないよう、事務をオンラインに最適化した形に見直す必要がある。こうした課題はあるが、社会全体が急速にデジタル化に加速しており、新たなニーズに対応するため積極的に検討する。

阪神北広域こども急病センターの費用負担

高塚 伴子 議員



問 開設時の費用負担と運営費の負担ルールは。また、利用実績に応じて尼崎市からも運営費の負担を求めるときと考えるが、見解を伺う。

答 こども急病センターの建設費用は、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町で負担している。運営費は、赤字部分について3市1町で、また、深夜帯部分は、西宮市民の患者も受け入れているため、同市も加え負担している。負担割合は、1割を各市町の人口按分、9割を受診者数で按分している。

尼崎市については、同市民が一定数受診しているものの、管内の医療体制で対応していることから、費用負担を求めることは難しいと考える。

養育費の取決めに対するサポート

里見 孝枝 議員



問 養育費の取決めに対するサポートについて、現状と今後の取組を伺う。

答 現状は、ひとり親に関する相談として受け付けており、離婚前の相談では、離婚協議で取り決める親権・養育費・面会交流の3点を確認し、公正証書・調定証書作成等のアドバイスや関係機関への同行支援を行い、離婚後でも可能な調定申立ての案内等、養育費確保に向け相談支援を行っている。相談窓口には、養育費の取決めのサポートについて分かりやすく明記した案内が必要と考える。今後、市民課と連携した離婚届受付時のパンフレットの配付等、相談窓口を広く市民に認識いただけるよう周知に取り組む。

家庭力推進向上

佐竹 璃保 議員



問 核家族化を防ぐための市独自の住宅政策案と、少子化や働く世代への家庭支援として平日の夜に家族のことを話し合う「だんらんウィークデー」の創設について伺う。

答 住宅政策案について、転入促進事業は、令和2年度で終了予定であるが、今後の事業については、新たに策定する第6次総合計画に基づき、新年度予算編成に向け内部で協議中であり、検討を進めていく。

また、「だんらんウィークデー」の取組については、男女共同参画や少子化、子育て支援、介護支援等、多岐にわたる課題の未然防止・予防措置としての家庭支援策であることから、関係各課と連携し検討していく。

保育所の入所申請

高橋 有子 議員



問 兄弟姉妹の同じ保育所への入所状況と、ひとり親家庭の年度途中の入所状況について伺う。

答 令和2年9月1日現在、兄弟姉妹が同時に保育所等に2号、3号認定で入所している児童数は、630世帯1,301人で、うち別々の施設に通う児童数は、118世帯237人である。

また、12月入所希望の486人のうち、ひとり親家庭の3世帯6人全てが入所できていない。4月当初は、待機児童が生じていないが、年度途中の入所は、全ての世帯で難しい状況となっている。今後、利用調整基準についても社会情勢や近隣市の状況等を注視して、慎重に検討していく。

シトラスリボンプロジェクト*活動への賛同を

山藪 有理 議員



問 新型コロナ禍での差別解消を目指すシトラスリボンプロジェクト活動への参加について見解を伺う。

答 偏見差別をなくすため、市長メッセージや市ホームページ、デジタルサイネージを活用した啓発を行い、新型コロナに関連する偏見や差別的言動の防止を広く市民に呼びかけてきた。プロジェクトについては、市民ならではの活動で、共感する市民等の手で広まることに意義があり、行政が行う啓発と市民等の主体的な啓発等の活動が相乗的に社会に効果をもたらしていくことが理想と考える。今後、全国的な動向を見ながら推移を見守りたい。

*シトラスリボンプロジェクト…新型コロナウイルスに感染しても、誰もが地域で笑顔の暮らしを取り戻せる社会にしようという運動

学校園での新型コロナとインフルエンザの同時流行への備え

安藤 なの香 議員



問 新型コロナとインフルエンザへの対策として室内湿度を40%以上に保つとよいと専門家の見解が示されている。公立教育機関の全教室に加湿器を設置することに費用面で課題があれば、濡れタオルを干す、霧吹きをするなど工夫して湿度を上げることができないのか。

答 運用面での対応で一定湿度を保つことや加湿することは可能であり、一部の学校では既に取り組んでいる。教育活動の内容で教室ごとの状況が異なる場合も想定されることから、運用面で対応しきれない場合は、予算の範囲内で、加湿器を設置することも考えられる。今後も適切な教育環境確保に向け、適時適切に対応していく。

行政手続きにおける押印の見直し

永松 敏彦 議員



問 市民の利便性向上や行政事務の効率化に向け押印の見直しが必要と考えるが、今後の方針等を伺う。

答 押印の主な役割は、その申請が「本人の意思によること」を担保しようとするものであるが、実印による押印でない場合には、押印の意味は必ずしも大きいとは言えない。こうしたことから、要綱等で認め印の押印を求めている申請書類等について、来年度より押印廃止の方向で検討しており、現在、指針を策定している。今後は、押印に代わる本人証明の手段の整備やデジタル技術の進展、またデジタルガバメントの実現に向けた流れに的確に対応し、さらなる市民サービス拡充と業務効率化を目指す。

公共施設の大規模改修等による収支不足の見通しとその対応

川井田 清香 議員



問 新規施設整備や公共施設の大規模改修等による中長期の収支不足の見通しと、その対応を伺う。

答 今後30年間の財政収支見通しの試算の結果、何も対策を講じず、新型コロナウイルス感染症拡大による社会経済状況の見通しに大幅な変更がなかった場合、約600億円の収支不足が見込まれた。この対応として、公共施設マネジメントの推進で約200億円、行財政改革の取組で約110億円、病院の繰出金の見直し等で約120億円の改善効果を見込んでおり、なお残る約170億円の収支不足の解消については、行財政プランの確実な実行とともに、計画を上回る効果を目指すことが有効と考える。

公文書における性別記載欄の見直し

大津留 求 議員



問 公文書における性別記載欄の見直しに取り組むべきと考えるが見解を伺う。

答 男女共同参画の観点などから事務上不要な性別欄の削除を適宜行っていたが、「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」の施行を契機に、性的マイノリティの方への配慮として性別欄の見直しを行った。その後、2017年に策定した第2期伊丹市男女共同参画計画において、公文書等の不要な性別表記の見直しを掲げ取り組んできた。

今後、来年度にかけての第3期同計画の策定作業に向け、第2期同計画の進捗結果の確認として、性別欄に関する調査を実施する予定である。

コロナ禍における支援策

加藤 光博 議員



問 新型コロナ感染拡大により経営に影響が出ている病院事業と交通事業に対する支援について伺う。

答 影響として、病院事業では受診者の減少による医療収入の減少が、交通事業では乗客者の減少による運輸収入の減少が見込まれる。これまでの一般会計からの支援としては、繰出金について企業の資金需要に対応できるよう交付時期を前倒しするなどの支援を実施してきた。さらなる支援については、特別の理由により必要がある場合には一般会計からの補助が認められている。今後とも、国等の財政支援や交付状況、さらには一般会計の財政状況等を見極めたうえで、適宜適切な支援を実施していく。

市内ミニバスケットボールチームで発生したハラスメント問題

保田 憲司 議員



問 ミニバスケットボールチームは、公立小学校の施設開放事業の一環で体育館を借りて活動しており、教育活動・地域活動の側面もあると考える。教育政策全般の責任者として、今回の問題に対する教育長の見解を伺う。

答 ハラスメント行為の対応で一番大切なことは初期対応である。事実を明らかにし、同様な行為が二度と繰り返されることがないようにすることである。私は、常々1人の子どもを育てるには、学校、家庭、地域など社会総がかりの対応が不可欠であると申し上げてきた。ハラスメント事案も縦割りの対応ではなく、子どもの育成に関わる者が連携し対応していかなければならないと考えている。

ニューノーマル時代のまちづくり

土井 秀勝 議員



問 ニューノーマル時代のまちづくりとして、新たな価値観に順応した活動スタイルへと変化が求められている地域コミュニティと行政のつながりについて伺う。

答 情報発信・情報共有などオンライン化が急速に進む一方、様々な年代の方が参画する地域活動では、デジタル機器を使い慣れていない方が取り残される、情報が届かないなどのデジタル弱者が生まれるといった弊害も懸念される。オンラインツールを身近なものとして活用できるよう、講座の開催やコミュニティ推進員が地域に出向き丁寧に支援を行っている。引き続き、地域のニーズを的確に捉えながら必要な支援を行っていく。

一般質問

有害鳥獣類等対策の現状は

齊藤 真治 議員



問 本市においても、外来種であるアライグマやヌートリアなどの出没が確認されているが、有害鳥獣類等の対策はどのようになっているのか伺う。

答 市街地や住宅地での通報・相談の大半はアライグマに関するもので、その捕獲については、「アライグマ等捕獲に係る箱罠の設置に関する要領」を制定し、市民、事業所、店舗等の協力のもと、依頼者の申請があれば、私有地に箱罠を設置するようにした。また、ヌートリアについては、個体数の増加に伴う農業や生態系などへの被害の発生が懸念されることから、箱罠による防除を実施している。今後も市民の安全を守り、迅速な対応に努めていく。

GIGAスクール

岸田 真佐人 議員



問 授業の質を高めるため、指導者用のタブレット端末の配付と、ICT支援員の配置について見解を伺う。

答 現在、全児童生徒のタブレット環境が整っており、活用にあたり、教員も同じ端末を使用する指導は分かりやすく、机間指導が行えるメリットがある。今後、国の動向や財政状況等を見ながら整備を検討していく。ICT支援員の配置は、「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」では、2022年度までに7人が必要となる。現在、ICT活用の支援体制は指導主事やヘルプデスク等により対応しているが、教育現場からのニーズが高まっており、体制の強化が必要と考え、同計画による配置に努める。

都市計画道路

～山田伊丹線昆陽泉町工区～

鈴木 久美子 議員



問 ①山田伊丹線昆陽泉町工区のみ事前評価を実施し、地権者に事前評価結果を公開しない理由は。②地域内の生活道路を抜け道として利用していた自動車が、山田伊丹線を通することで安全性が向上するとのことだが根拠は。

答 ①道路整備にあたり様々なご意見をいただき、その都度、御理解・御協力をいただけるよう取り組んでいる。整備効果についても定量的な説明が必要と考え、整備後の効果検証を目的として事前評価を実施した。権利者からの求めがあれば情報提供を行う。②幹線道路整備による一般的な効果として通過車両の減少が予想され、地域の方々が、より安全に生活道路を利用できるものと期待している。

議案 審査

令和2年第6回定例会では、議案は30件でした。ここでは、全議案と、これらの議案が付託された3つの委員会の内容をご紹介します。

なお、議案名の横にA～Eとあるのは、賛否が分かれた議案です。各議員の賛否は7ページの議決結果をご覧ください。

議会では本会議から委員会に議案を付託して、詳細な審査をするんだ。伊丹市議会では3つの常任委員会があるんだ。

総務政策常任委員会

○令和2年度 一般会計補正予算(第10号)

3億4,988万2千円を追加補正

【新型コロナウイルス感染防止対策と行政のデジタル化を推進】

救急体制や医療体制を確保するため新型コロナウイルス感染防止対策を実施するとともに、新たな生活様式の定着に向け、行政のデジタル化が推進されます。

- 市民や救急隊員の感染防止及び迅速な救急出動態勢を確保するため、オゾンガス式除染装置が全救急車に配置されます。
- 医師や看護師等の感染防止対策として、ナースステーション等で複数の患者情報をモニタリングできるセントラルモニタが配置されます。
- DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進するため、外部人材を活用した庁内横断型の組織体制が構築されます。

【その他の事業】

- LINE防災アプリ(令和3年4月運用開始予定)と連携し、市民に速やかな防災気象情報を提供できるよう雨量計が更新されます。
- 令和3年度も引き続き小学1年生を対象に、まちなかミマモルメの初期登録料、月額利用料を無料とし、利用促進が図られます。
- 保健センター、口腔保健センター、休日応急診療所の3つの機能を集約した新保健センター等複合化施設が整備されます。

- その他の議案**
- 市税条例の一部改正
 - 火災予防条例の一部改正
 - 土地の処分
 - 令和2年度 一般会計補正予算(第11号) **A**
 - 令和2年度 国民健康保険事業特別会計補正予算 **B**
 - 令和2年度 介護保険事業特別会計補正予算(第3号) **C**
 - 核兵器禁止条約への日本政府の署名と批准を求める意見書提出を求める請願 **D**

文教福祉常任委員会

- 令和2年度 後期高齢者医療事業特別会計補正予算
- 令和2年度 介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 高齢者憩いのセンターの指定管理者の指定
- 稲野公園運動施設の指定管理者の指定
- 【小学校5年生から中学校3年生まで、当面35人学級の実現】を県に要望することを求める請願書 **E**

都市企業常任委員会

- 令和2年度 病院事業会計補正予算
- 令和2年度 下水道事業会計補正予算
- 墓地使用条例の一部改正
- 市営住宅条例の一部改正
- 共同利用施設等の指定管理者の指定
- 合葬式墓地の指定管理者の指定
- 自転車駐車場の指定管理者の指定
- 財産の減額譲渡
- 市道路線の認定及び廃止

- 委員会付託なし**
- 南西部こども園整備工事(建築工事)の請負契約
 - 南西部こども園整備工事(機械設備工事)の請負契約
 - 笹原小学校大規模改造(第2期)工事の請負契約の一部変更契約
 - JR伊丹駅前駐車場大規模改修工事の請負契約の一部変更契約
 - 固定資産評価審査委員会委員の選任
 - 住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書
 - 不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書
 - 犯罪被害者支援の充実を求める意見書

議決 結果

第5回臨時会 **可決** 議案 **2**件

第6回定例会 **可決** 議案 **25**件
意見書 **3**件

不採択 請願 **2**件

賛否の分かれた議案

第5回臨時会

a 一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正

第6回定例会

- A** 令和2年度 一般会計補正予算(第11号)
- B** 令和2年度 国民健康保険事業特別会計補正予算
- C** 令和2年度 介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- D** 核兵器禁止条約への日本政府の署名と批准を求める意見書提出を求める請願
- E** 【小学校5年生から中学校3年生まで、当面35人学級の実現】を県に要望することを求める請願書

会派名 議員名	a	A	B	C	不採択	E
新国会	可決	可決	可決	可決	不採択	不採択
花田康次郎	○	○	○	○	×	×
土井 秀勝	○	○	○	○	×	×
佐竹 璃保	○	○	○	○	×	×
戸田 龍起	○	○	○	○	×	×
杉 一	○	○	○	○	×	×
高塚 伴子(監査委員)	○	○	○	○	○	○
加藤 光博	○	○	○	○	×	×
公明党						
永松 敏彦	○	○	○	○	×	×
里見 孝枝	○	○	○	○	×	×
山本 恭子(副議長)	○	○	○	○	×	×
篠原 光宏	○	○	○	○	×	×
竹村 和人	○	○	○	○	×	×
北原 速男	○	○	○	○	×	×
フォーラム伊丹						
大津留 求	○	○	○	○	○	○
高橋 有子	○	○	○	○	○	○
岸田真佐人	○	○	○	○	○	○
安藤なの香	○	○	○	○	○	○
山蘭 有理	○	○	○	○	○	○
保田 憲司	○	○	○	○	○	○
創政会						
鈴木久美子	○	○	○	○	×	×
川井田清香	○	○	○	○	×	×
佐藤 良憲(議長)	—	—	—	—	—	—
吉井 健二	○	○	○	○	×	×
新内竜一郎	○	○	○	○	×	×
日本共産党伊丹市議会議員団						
久村真知子	×	×	×	×	○	○
上原 秀樹	×	×	×	×	○	○
会派に属さない議員						
小西 彦治	×	×	×	×	○	○
齊藤 真治	○	○	○	○	×	○

○…賛成 ×…反対 —…議長は表決に加わりません。

議長の活動報告

議長は、伊丹市議会を代表して広域的な会議などへの出席や、様々な行政課題の解決に向け取り組んでいます。(副議長が議長に代わって職務を行うこともあります。)ここでは、その一部を紹介します。

新児童会館「こらくる」を視察



佐藤良憲議長(左)、山本恭子副議長(右)

市立児童会館「こらくる」を視察しました。子どもの遊び場となるプレイルーム、講座等ができる講習室や多目的室などを見学し、施設概要について施設担当職員から説明を受けました。

人事

12月定例会において、次の方が決定されました。(敬称略)

▽固定資産評価審査委員会委員
畑 健治

市議会からのお知らせ

議場コンサートの開催中止について

令和3年2月に開催を予定していた伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団による『議場コンサート』は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止させていただきます。
開催を楽しみにされていた方々には誠に申し訳ありませんが、ご理解のほどお願いいたします。

11月臨時会・12月定例会の質疑、一般質問及び答弁は、市議会ホームページから録画配信でご覧いただけます。

操作方法は下記のとおりです。

伊丹市議会
伊丹市議会 本会議中継・録画配信

ご覧になる場合は、ここをクリック

視覚障がいのある方を対象に、「朗読ボランティアグループ玉手箱」の皆さんの協力により、市議会だよりを朗読録音したCDを提供しています。

会議の予定

日	月	火	水	木	金	土
2/14	15	16	17	18	19	20
	議会運営委員会				第1回定例会 本会議招集日 議員総会	
21	22	23	24	25	26	27
				議会運営委員会 本会議第2日 議案質疑		
28	3/1	2	3	4	5	6
	総務政策 常任委員会	文教福祉 常任委員会	都市企業 常任委員会		本会議第3日 一般質問	
7	8	9	10	11	12	13
	本会議第4日 一般質問	本会議第5日 一般質問	本会議第6日 一般質問		予算等審査 特別委員会	
14	15	16	17	18	19	20
	予算等審査 特別委員会	予算等審査 特別委員会	予算等審査 特別委員会			
21	22	23	24	25	26	27
				議会運営委員会 本会議最終日 議員総会		

請願・陳情の受付は随時行っています。あなたの声を伊丹市議会へ。

【伊丹市議会だより】編集発行：伊丹市議会事務局議事課 〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地(市役所議会棟2階)
☎072-780-4090 ☎072-784-8092 http://www.city.itami.lg.jp/
伊丹市議会だよりは85,000部作成し、印刷費は1部あたり7.0円です。

